

～～第8368回～～

沼津アルプス

～H30. 2. 4～

沼津迄の列車2時間の長旅も、天気快晴と白く美しい富士山が徐々に大きくなる窓の景色に気が紛れる。出発点、多比に着いた時も穏やかで明るい日光、絶好のハイキングになると今日の幸運を喜びながらのスタートとなった。最初のコンクリート舗装の急坂で体調確認と着衣の調整をする。目指す鷲頭山が真正面、登山意欲をそそる。登山道に入り一登りすると多比口峠、ここから大平山迄20分惜しい気もしたが、我々は尾根つたいに北に歩を進める。大小のボコボコした岩と木の根が生えつくばる道、足の置き場に神経を使うが木の間から垣間見える江浦湾、右側の三島の街と箱根の景色の美しさを楽しむ余裕はあった。鷲頭山への急登にはロープが張られ危険はないが、1週間前の雪が解けて湿土となり滑りやすい。沼津アルプス最高峰のその山頂は展望も良く、息きりながら登って来て十分に味わえなかった景色を堪能でき、メンバーは大満足であった。その後も急坂の登り下りの要所にロープが設置され、注意深く移動する。滑りや、けつまずくことに注意をしながら歩を進めると、ついアクロバティックな姿勢となってしまうメンバーに笑い声が散発した。沼津アルプスの連峰は急登降の連続で時々息切れするが、一歩ずつ進めると、すぐ目標の頂上や峠に到達出来る苦勞の喜びを味わえるところが登山者に好まれるのだろう。それを支えているのは地元の人たちの熱心なルート整備への努力だと感じた。適所に張られたロープや標識、東西にエスケープ可能なルートがいくつも設定され、要所には桜の木が植えられ「きらきら展望台」「さざなみ展望台」などその名前に納得できる標識には自治会名まで記されていた。歩を進める度に変わる景色を楽しみながら汗したが、西風が次第に強くなり、樹木を横なでする音が一層寒さを感じさせる。その風を避ける場所を見つけて昼食場所にしたが、30分もじっとしていることが出来ない。団体ツアーで賑わう徳倉山では富士山をバックに記念写真を撮る。横山からは今日のハイキングを総まとめにした様な急坂をロープつたいで下り、予定通りに八重坂峠に辿りつけた。

参加者：11名（袋井）

天候：晴れ（強風）

地図：沼津

コースタイム：多比バス停 915…多比口峠 1000…多比峠 1035…鷲頭山(392m) 1050…小鷲頭山(330m) 1110…志下峠 1130…馬込峠 1140…志下山(214m) 1145…志下坂峠 1155…昼食 1200-30…しおみち広場 1240…徳倉山(256m) 1255…横山峠 1325…横山(183m) 1250…八重坂峠 1410…八重坂バス停 1415

記録：袋井支部 若林